

## 東北文化学園大学 ナースプラクティショナー養成分野 クリニカル・スキルスラボ実習を実施しました

2026年3月16日から19日にかけて、東北文化学園大学ナースプラクティショナー養成分野のクリニカル・スキルスラボ実習が実施され、10名の実習生が参加しました。

ナースプラクティショナーの仕事は、医師や他の医療専門職と協力し、患者の生活の質の向上を目指して診療を行います。また、地域医療の格差解消や訪問看護の拡充においても重要な役割を果たしています。そのため、実習の内容は、心音聴診、呼吸音聴診、CV、腹部超音波検査、急変対応、胸腔ドレーンと広範囲に渡りました。指導は東北大学病院、東北医科薬科大学病院、みやぎ県南中核病院のそれぞれの分野を専門とする医師と東北文化学園大学の教員が務めました。

実習生は2班に分かれ、各種シミュレータを用いて十分な時間を確保した実技トレーニングを実施しました。心音・呼吸音の聴診やCV挿入、腹部超音波検査に関しては2名で1台のシミュレータを使用できる充実した環境の下、反復して手技の確認を行いました。また、急変対応においては、高機能成人シミュレータSimman3Gを用いて、グループ内で役割分担を行い様々なシナリオを経験することで、チーム医療の重要性について理解を深めることができました。

本実習を通じて、実践的な技術習得のみならず、医療現場における協働の意識を高める有意義な研修になりました。

